

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	90	学校名	仙台市立野村小学校	校長名	及川 勝成
------	----	-----	-----------	-----	-------

「守り続けよう、緑豊かな野村の里」



1 取組のタイトル、テーマ

学校の周りの環境保全のために、児童がどのように自然や社会と関わりを持てるかを考える。

2 取組の紹介

全校 ○美化活動

本校では、毎年行っている美化活動を11月14日(木)に行いました。計画委員会が活動の中心となり、たてわり班に別れ通学路のごみを拾いました。普段通っている道に一般ごみ・資源ごみ・プラごみ以外に違法投棄と思われるごみが放置されていました。活動後のまとめの会ではごみの種類の多さに驚くとともに、野村地区のごみを減らす活動として、自分たちが出来ることを考える体験となりました。上学年が下学年にごみを拾う時の良い手本を見せ、安全で実りある活動となりました。

○稲作

5年生が中心となり、全校児童で田植えと稲刈りを行いました。どちらも手作業で行い、昔の農家さんの御苦労を体感し、米を大事に育て、食する意識を高めました。

○親子食育講座

「親子食育講座」では、全校児童と保護者の方々が参加して、学年教材園に大根を植え、収穫しました。また、「収穫感謝の会」を催し、お米の先生を招き、感謝を伝えるとともに、親子で作ったおにぎりを一緒に食べ、大勢で食べる楽しさを味わいました。

各学年

- ・各学年、学年教材園で一人一野菜を決め、大切に育てました。収穫時には各家庭に持ち帰り、家で食べました。
- ・低学年は、生活科でペットボトルや食品トレイ、空き箱などの廃材を再利用し、動くおもちゃを作り、友達と遊びました。また、サツマイモ、スイカなどの野菜を育てたり、学校の柿の収穫時に干し柿を作ったりと、多くの収穫体験をしました。
- ・中学年は、理科や図工科の作品作りのために、地域に出て自然に触れ合う機会を多く持ちました。また、理科でヘチマやグリーンカーテンを栽培し、発芽から実ができるまでの観察をしました。
- ・高学年は、家庭科で3Rについて学び、エコ活動を意識して生活しました。調理実習では廃棄野菜やごみを少なくする工夫をし、学びを実体験に生かしました。
- ・5、6年生は、国語の教材文を用いて、地球規模の環境問題について考えました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

○全学年の児童が、普段から環境やエコ活動を意識しながら生活しました。

○児童は、学年教材園や稲作、花壇の植物の育成を通して、植物の育つ環境の大切さを知ることができました。また、生活科、家庭科、収穫感謝の会などを通して、身の回りの自然や食に対する感謝の気持ちを持ちました。

